



現場の皆さんの声を聞かせてください！

第2回 JFAグラスルーツアンケート調査

日本サッカー協会(JFA)では2014年5月15日に「JFAグラスルーツ宣言」を行い、「だれもが、いつでも、どこでも」サッカーを楽しめる環境が広がることを目指して様々な活動を行っています。

JFAグラスルーツ宣言の具現化につながる取り組みを検討するために、現場で実際に活動しているクラブの関係者、指導者を主な対象としたアンケート調査を2015年に行いましたが、その後の状況を把握するため、第2回目の調査を行います。

なお、本調査結果は、現場の皆さんの貴重な声として、JFAが策定を進める「JFAグラスルーツロードマップ(仮称)」にも反映させる予定です。

だれもが、いつでも、どこでも、サッカーを安心して楽しめる環境づくりのための調査です。ぜひご協力ください。

目的: JFAグラスルーツ宣言の具現化につながる現場の状況を把握する。

期間: 2018年5月9日(水)～6月8日(金)

対象: 全てのサッカーファミリー(サッカークラブの関係者や指導者ほか、サッカーを愛するすべての皆様。)

内容: 以下のキーワードに関する、サッカー活動の現場の状況についてのアンケート。

「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者サッカー」「他スポーツとの協働」「施設の確保」「社会課題への取り組み」

回答方法: JFA公式ウェブサイト「JFA.jp」上の専用フォームから回答。



<http://bit.ly/jfagr2018>

第2回 JFAグラスルーツアンケート調査

目的: JFAグラスルーツ宣言の具現化につながる現場の取り組み状況を把握する。

期間: 2018年5月9日(水)～6月8日(金)

対象: 全てのサッカーファミリー(サッカークラブの関係者や指導者、ファン・サポーターほか、サッカーを愛するすべての皆様。)

内容: 以下のキーワードに関する、サッカー活動の現場の状況についてのアンケート。

「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者サッカー」「他スポーツとの協働」「施設の確保」「社会課題への取り組み」

回答方法: JFA公式ウェブサイト上の専用フォームから回答 (<http://bit.ly/jfagr2018>)

<お問い合わせ先>

本調査に関するご意見、お問い合わせは、公益財団法人日本サッカー協会グラスルーツ推進部にてお受けいたします。

こちらのウェブフォームをご利用ください。<http://bit.ly/jfagrassrootsform2015support>

なお、本調査に関係のないお問い合わせについては、対応いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

<個人情報の取り扱い>

本アンケート実施にあたっては、当協会の「個人情報の保護に関する方針」(<http://www.jfa.jp/information/personal.html>)に基づき、個人情報を適切に取得、管理、利用いたします。

取得内容: 回答者の氏名、メールアドレス(任意)

利用目的: ご意見・ご提案に関するご連絡

<その他>

本サイトへの通信料は、回答いただく方のご負担となります。スマートフォン等で回答いただく場合、携帯電話会社の料金プラン等をご確認ください。

回答者についての質問

(1)年齢(必須)

	歳
--	---

(2)性別(必須)

男性 女性

(3)主な活動場所(必須)

	市	区
	郡	町・村

※政令市の場合は市と区を、町村の場合は郡もご記入ください。

あなたとサッカーとの関わりについて教えてください。

(1)次のうち、あなたに該当するものを選択してください。(必須、複数選択可)

- チーム関係者 スクール関係者 指導者 審判員 選手 選手の保護者
 ファン・サポーター JFA/地域/都道府県サッカー協会の役員 各種連盟の役員
 地区、市区郡町村サッカー協会の役員 その他 ()

(2)チームやスクールに関係していますか？(必須)

はい いいえ

※「はい」の場合は、次に進んでください。

※「いいえ」の場合は、「キーワード1：引退なし」へ進んでください。

チーム／スクールについて

(1)どの種目を行っていますか？(必須、複数選択可)

※障がい者のためのフットサルは、「障がい者サッカー」を選択してください。

サッカー フットサル ビーチサッカー 障がい者サッカー その他 ()

(2)選手の総数を教えてください。

	人
--	---

(3)選手の年代を教えてください。(複数選択可)

U-6年代 U-8年代 U-10年代 U-12年代 U-15年代 U-18年代
 大学・専門学校等 社会人 シニア年代(40歳以上) その他 ()

(4)選手の性別を教えてください。(必須)

男子のみ 男子と女子 女子のみ

(5)JFAのチーム登録を行っていますか？(必須)

行っている 行っていない わからない

(6)指導者数を教えてください。

	うち、JFA指導者ライセンス保持者
人	人

(7)活動場所はどこですか？(複数選択可)

公共のスポーツ施設 公園等 学校・幼稚園等の教育施設 民間のスポーツ施設
 自己所有の施設 その他 ()

(8)障がい者サッカーを行なっている場合、次のどれにあてはまりますか？(複数回答可)

アンパティサッカー(切断障がい) CPサッカー(脳性麻痺) ソーシャルフットボール(精神障がい)
 電動車椅子サッカー ブラインドサッカー(視覚障がい) ろう者サッカー(聴覚障がい)
 その他 ()

キーワード1：引退なし

日本では、中学、高校、大学・社会人と、年齢が上がるごとにチーム数が少なくなり、全ての人がサッカーを続けられる場所が用意されているわけではありません。いくらサッカーが好きでも、サッカーを続けられなくなる人が多く存在します。

「引退する」が当たり前ではなく、「継続する」を当たり前の環境にするために、生涯にわたってサッカーを楽しめるクラブやいくつになっても気軽にサッカーが楽しめる場づくりをサポートしていきたいと考えています。

前回のアンケートでは、約94%の方がこのような考え方に賛同し、114団体がJFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度「ずっとEnjoy♪～引退なし～」のテーマで活動しています。

(1) 「引退なし」の取り組みがあなたのまわりで行われていると思いますか？

- とても行われていると思う 行われていると思う 行われていないと思う 全く行われていないと思う わからない

(2) 「引退なし」の取り組みがあなたのまわりで行われていると思う場合は、その内容を教えてください。(複数回答可)

- シニアの活動が行われている
 エンジョイ志向の活動場所がある
 年代・性別を問わず選手を受け入れている
 多世代クラブがある
 自分でチームを立ち上げている
 その他 ()

(3) 「引退なし」の取り組みがあなたのまわりで行われていないと思う場合は、その原因は以下のどれにあてはまりますか？(複数回答可)

- 過剰な競技志向や勝利至上主義のため
 仕事が忙しくサッカーをする余裕がないため
 受験生が気軽にサッカーをする環境がないため
 指導者・審判などの支える人材が不足しているため
 チームや施設などの活動する場がないため
 その他 ()

(4) 「引退なし」の取り組みがあなたのまわりでもっと行われるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか？(複数回答可)

- それぞれのレベルで楽しめるゲーム環境
 生涯にわたって楽しみ続けられる環境
 年齢・性別・障がいの有無やサッカー経験に関係なく楽しむことができるルールの普及
 学校の開放
 指導者・審判などの人材の養成
 クラブを運営する人材の養成
 その他 ()

キーワード2：補欠ゼロ

サッカーをやっていて一番楽しいと思うのは試合です。近年は関係者の努力により、リーグの整備が進み、試合の機会は増えています。しかし、多くの選手をかかえるチームでは、大会／リーグ等の公式戦に出場できない選手が多くいます。また、指導者の偏った勝利至上主義で試合に出場できない、指導者不足で複数のチームが編成できない、競技会に複数チームのエントリーができない、等出場できない理由は様々です。

「万年補欠はしょうがない」ではなく、それぞれの選手のレベルに応じて、みんなが必ず試合を楽しめるプレーヤーズ・ファーストの観点で考えられるような環境となるよう、サポートしていきたいと考えています。

前回のアンケートでは、約85%の方がこのような考え方に賛同し、128団体がJFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度「補欠ゼロ～みんなPlay!～」のテーマで活動しています。

(1)「補欠ゼロ」の取り組みがあなたのまわりで行われていると思いますか？

とても行われていると思う 行われていると思う 行われていないと思う 全く行われていないと思う わからない

■「大会／リーグの運営」に関して

(2)「補欠ゼロ」の取り組みがあなたのまわりで行われていると思う場合は、その内容を教えてください。(複数選択可)

- レベルや年齢に応じた大会／リーグ等が整備されている
- 複数チームでのエントリーが認められている
- 試合にエントリーされた選手を全員出場させるルールを設けている
- その他 ()

(3)「補欠ゼロ」の取り組みがあなたのまわりで行われていないと思う場合は、その原因は以下のどれにあてはまりますか？(複数選択可)

- 施設が不足している
- 審判員が不足している
- 複数チームでのエントリーが認められていない
- 大会／リーグ等が多すぎてスケジュールが組めない
- その他 ()

■「チーム」に関して

(4)「補欠ゼロ」の取り組みがあなたのまわりで行われていると思う場合は、その内容を教えてください。(複数選択可)

- 試合にエントリーされた選手を全員出場させるように努めている
- 複数チームを編成し、大会／リーグ等へエントリーしている
- チームを分けて、レベルに応じた大会／リーグ等へ参加している
- その他 ()

(5)「補欠ゼロ」の取り組みがあなたのまわりで行われていないと思う場合は、その原因は以下のどれにあてはまりますか？(複数選択可)

- 選手の数に対して指導者が不足している
- チームの方針
- その他 ()

■「アマチュア選手の移籍」に関して

(6)JFAは2017年3月に「アマチュア選手の移籍に関する手続きの理解促進および大会要項等における出場資格の適正化に向けて」の通達を登録チームに対して発信し、アマチュアのリーグやチームにおいて不当に選手の移籍が妨げられないようにしています。この通達のことを知っていましたか？

- 知っていた 知らなかった

(7)アマチュア選手の移籍が不当に制限されている状況があなたのまわりであると思いますか？

- あると思う ないと思う わからない

(8)あると思う場合、その状況は以下のどれにあてはまりますか？

- 現チームが登録を抹消せず、移籍を拒否している
 チームのルールで、他のチームへ移籍ができないようにしている
 大会／リーグのルールで、移籍した選手の公式戦出場の機会が不当に制限されている
 その他 ()

■「チームのエントリー」に関して

(9)あなたのまわりで、大会やリーグへ希望するチームが参加しやすい状況だと思いますか？

- とても参加しやすいと思う 参加しやすいと思う どちらでもない
 参加しにくいと思う 全く参加しにくいと思う わからない

(10)参加しにくいと思う場合、その状況は以下のどれにあてはまりますか？

- 大会へのエントリー条件が厳しい
 大会参加料の負担が大きい
 複数チームエントリーが認められていない
 チームの加盟登録自体が認められない
 その他 ()

キーワード3：障がい者サッカー

JFAは2016年4月、日本アンパティサッカー協会、日本ソーシャルフットボール協会、日本知的障がい者サッカー連盟、日本電動車椅子サッカー協会、日本脳性麻痺7人制サッカー協会、日本ブラインドサッカー協会、日本ろう者サッカー協会と共に、障がい者サッカーを統括する「日本障がい者サッカー連盟」を設立しました。今後は、障がい者サッカーの普及・発展をサポートすることにより、サッカーを通じて障がい者も健常者も普通に交わる社会の実現を目指します。

前回のアンケートでは、約96%の方がこのような考え方に賛同し、88団体がJFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度「障がい者サッカー～だれでもJoin♪～」のテーマで活動しています。

(1) 「障がい者サッカー」の取り組みがあなたのまわりで行われていると思いますか？(必須)

- とても行われていると思う 行われていると思う 行われていないと思う 全く行われていないと思う わからない

(2) 「障がい者サッカー」の取り組みがあなたのまわりで行われていると思う場合は、その内容は以下のどれにあてはまりますか？

- 障がい者サッカー専門チームがある
 障がい者と健常者が一緒に活動するチームがある
 体験会が行われている
 その他 ()

(3) 「障がい者サッカー」の取り組みがあなたのまわりで行われていないと思う場合は、その原因は以下のどれにあてはまりますか？(複数回答可)

- 障がい者がサッカーを行える場がない
 障がい者と健常者は分かれて活動するものだと思われる
 障がい者サッカーに関する情報が少ない
 障がい者への支援に対する周囲の理解がない
 その他 ()

(4) 「障がい者サッカー」の取り組みがあなたのまわりでもっと行われるようにするために、最も重要だと思うものを1つ選択するとしたら、どれになりますか？

- 障がい者サッカーチームの創設
 障がい者と健常者が一緒に活動できるクラブの増加
 障がい者サッカーに関する積極的な情報発信
 障がい者サッカーへの理解を広める啓発活動
 障がい者サッカーの各日本代表チームの活躍
 障がい者サッカーを体験するイベントの開催
 障がい者サッカーの指導者養成
 各障がい者サッカー団体間の連携

キーワード4：他スポーツとの協働

幼少期は、サッカーだけでなく、他のスポーツや遊び、社会的な活動など、様々なことを経験することによって、豊かな感性・創造性・自主性などが育まれていくと考えています。サッカーが好きでサッカーだけ続けるのは本人の自由ですが、他のスポーツなどを選択するのもまた自由です。本人の個性や特徴が活かせる選択肢が少しでも多く持てる環境があれば、楽しくスポーツを続けていくことができるのではないのでしょうか。また、サッカーの環境だけが充実すれば良いという考え方ではなく、他のスポーツ団体と協働し、より多くの人達がスポーツを継続して楽しめるようなスポーツ全体の環境整備に努めていきたいと考えています。

(1)「他スポーツとの協働」の取り組みがあなたのまわりで行われていると思いますか？(必須)

- とても行われていると思う 行われていると思う 行われていないと思う 全く行われていないと思う わからない

(2)「他スポーツとの協働」の取り組みがあなたのまわりで行われていると思う場合は、その内容を教えてください。(複数選択可)

- 他スポーツを取り入れたり、他スポーツと交流したりする場がある
 他スポーツ団体と協働で地域の活動などを行なっている
 その他 ()

(3)「他スポーツとの協働」の取り組みがあなたのまわりで行われていないと思う場合は、その原因は以下のどれにあてはまりますか？(複数回答可)

- 他スポーツの経験が子どもの発育発達に役立つことが理解されていないから
 他スポーツとの協働が重要だと思われていないから
 他スポーツを行う余裕がないから
 一緒に活動できる他スポーツの団体がないから
 その他 ()

(4)「他スポーツとの協働」の取り組みがあなたのまわりでもっと行われるようにするには、どのようなことが必要だと思いますか？(複数回答可)

- 他スポーツができるクラブ
 気軽に参加できる他スポーツのイベント
 他スポーツの情報入手
 他スポーツを指導できる人材養成
 その他 ()

キーワード5：施設の確保

サッカーに関わる様々な活動を行うためには、施設を確保することが最重要課題です。施設が不足している地域では、施設の取り合いで、チーム同士の関係が悪化しているところもあります。そのような状況から脱却するために、「施設を借りる」というだけでなく「施設を造る」という取り組みが必要だと考えています。遊休地、廃校、休耕田、空き倉庫、ゴルフ場空きスペース等の利活用やPFI方式(自治体の土地を利用し民間が施設を造る)等による施設づくり、各種助成制度を活用した場所の確保など、自由に使える施設を、チームやクラブが自分達で整備していけるようにサポートしたいと考えています。

(1)あなたが普段活動している場所は、どのようなピッチですか？（複数選択可）

- | | | |
|-------------------------------------|--|--|
| <input type="checkbox"/> サッカー天然芝 | <input type="checkbox"/> サッカー人工芝 | <input type="checkbox"/> サッカークレー（土） |
| <input type="checkbox"/> フットサル屋内人工芝 | <input type="checkbox"/> フットサル屋内フローリング | <input type="checkbox"/> フットサル屋内その他 |
| <input type="checkbox"/> フットサル屋外人工芝 | <input type="checkbox"/> フットサル屋外フローリング | <input type="checkbox"/> フットサル屋外その他 |
| <input type="checkbox"/> ビーチサッカー砂 | <input type="checkbox"/> 活動していない | <input type="checkbox"/> その他（ ） |

(2)活動は同じ施設でできていますか？

- 毎回できている ある程度できている たまにできている ほとんどできていない その他（ ）

(3)活動している施設は有料ですか無料ですか？

- 全て無料 全て有料 無料の施設と有料の施設がある
 自己保有なので使用料はなし その他（ ）

(4)あなたのまわりで利用できるサッカー施設は十分にあると思いますか？

- 十分にある どちらかというところ どちらでもない どちらかというところ 全くない わからない

(5)「施設を造る」取り組みがあなたのまわりで行われていると思う場合は、その内容を教えてください。（複数選択可）

- 自治体が積極的に施設整備に取り組んでいる
 土地の有効活用により、施設が新設された
 地元のサッカー協会が施設整備に取り組んでいる
 その他（ ）

(6)「施設を造る」取り組みがあなたのまわりで行われていないと思う場合は、その原因は以下のどれにあてはまりますか？（複数回答可）

- 土地の確保が難しいから
 必要となる資金の確保が難しいから
 施設づくりのノウハウがないから
 行政が施設整備に消極的だから
 その他（ ）

(7)「施設を造る」取り組みがあなたのまわりでもっと行われるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか？（複数回答可）

- 地域の理解
 資金の調達
 行政への働きかけ
 施設づくりのノウハウ普及
 廃校の利活用
 その他（ ）

キーワード6：社会課題への取り組み

私達の住んでいる地域には、それぞれに社会的な課題が存在します。いじめ、不登校、ひきこもり、自殺、ゲーム依存、児童虐待、待機児童、過疎化、少子高齢化など、その課題は様々です。スポーツにはそういった課題を解決する力があると考えています。サッカーやスポーツを通じて、それらの課題解決に取り組むことによって、少しでも社会が明るくなれば、社会におけるスポーツの価値も高まります。その結果、より多くの賛同者や協力者が集まり、より良い活動に繋がって行くことができるのではないかと思います。このような社会課題解決のための活動をサポートしていきたいと考えています。

(1)サッカーやスポーツを通じた「社会課題解決への取り組み」ができると思う領域をすべて選択してください。(必須、複数選択可)

- 子ども等の貧困
- 農業・食料生産
- 健康・福祉
- 教育
- 女性の社会進出
- 水資源の保護
- エネルギー確保・省エネ
- 働き方改革
- 住環境・インフラ整備・災害対策
- 発展途上国との格差是正
- 障がい者等への差別撤廃
- 人権や環境等に配慮した生産・消費
- 気候変動・温暖化対策
- 海洋資源保護
- 森林保護・生物多様性
- 平和・差別撤廃
- グローバルな連携強化
- 該当なし

(2)サッカーやスポーツを通じた「社会課題への取り組み」があなたのまわりで行われていると思いますか？(必須)

- とても行われていると思う 行われていると思う 行われていないと思う 全く行われていないと思う わからない

(3)サッカーやスポーツを通じた「社会課題への取り組み」があなたのまわりで行われていると思う場合は、その内容を教えてください。(複数選択可)

- チームで地域の清掃活動を行なっている
- 社会的不利、困難を抱える若者に対してサッカーの場を設けている
- 高齢者の健康のためにサッカーを行なっている
- 女性が気軽にサッカーを楽しむ場を作っている
- 貧困家庭の子どものためにサッカーの場を設けている
- いじめ・差別・暴力をなくす教育をしている
- チームで災害への支援活動を行なっている
- 健康・栄養・体調管理を考えた活動を行なっている
- 国際交流を行なっている
- 物や資源を大切にすることを教育している
- その他 ()

(4)サッカーやスポーツを通じた「社会課題への取り組み」があなたのまわりで行われていないと思う場合、その原因を教えてください。(複数回答可)

- サッカーやスポーツでできることが限られているから
- 取り組みを行う余裕がないから
- 必要だと思われていないから
- その他 ()

(5)サッカーやスポーツを通じた「社会課題への取り組み」があなたのまわりでもっと行われるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか？(複数回答可)

- サッカーやスポーツを通じた社会課題解決力の可視化
- 社会課題に取り組む団体との連携
- 社会課題の取り組みに対する啓発
- その他 ()

最後に

(1)JFA グラスルーツ宣言から3年が経過しましたが、あなたのまわりのグラスルーツサッカーの環境は、「だれもが、いつでも、どこでも。サッカーをもっとみんなのものに」に近づいたと思いますか？

- とても思う 思う どちらでもない 思わない 全く思わない わからない

(2)日本全国ですでにグラスルーツの取り組みを行なっている団体を認定する、「JFA グラスルーツ推進・賛同パートナー制度」について知っていましたか？

- 知っていた 知らなかった

(3)グラスルーツ推進全般について、JFA に対するご意見、ご提案がございましたら、ご記入ください。今後の取り組みの参考にさせていただきます。

--

アンケートは以上で終了です。

(1)このアンケートをどこで知りましたか？(複数選択可)

- JFA 公式ウェブサイト [JFA.jp] / JFA 公式 SNS テクニカルニュース 機関誌 [JFAnews]
 友人・知人からの紹介 クラブ内の紹介 JFA からのメール その他 ()

(2)さらに詳しくお聞きしたい場合、メールにてお問い合わせをさせていただいてもよろしいでしょうか？(必須)

- 承諾する 承諾しない

(3)「賛同パートナー制度」その他 JFA からのグラスルーツ推進に関するご案内を、メールにてお送りしてもよろしいでしょうか？(必須)

- 承諾する 承諾しない

お問い合わせに承諾していただける場合は、氏名、メールアドレスをご記入ください。

氏名
メールアドレス

ご協力いただき、ありがとうございました。

いただいた貴重なご意見は、今後の JFA グラスルーツ宣言具現化につながる取り組み検討に活用させていただきます。

